

奈良県の経済動向の概要(令和4年8月)

別紙

統計分析課

奈良県の主要経済指標の動き(対前年同月比)

指標名	消費		生産	投資
	百貨店・スーパー 販売額【全店】	新車販売台数	鉱工業生産指数	新設住宅着工戸数
4月				
5月				
6月				
7月				
最新月の動き	▲3.5% 13か月連続で 減少	▲7.1% 13か月連続で 減少	2.5%【前月比】 2か月連続で 上昇	12.7% 5か月ぶりに 増加

指標名	投資	金融	雇用	
	建築着工床面積	国内銀行貸出残高	有効求人倍率 【就業地別】	新規求人倍率 【就業地別】
4月				
5月				
6月				
最新月の動き	3か月後方移動平均 6か月連続の 増加	▲1.3% 12か月連続の 減少	0.03ポイント【前月比】 2か月連続で 増加	0.12ポイント【前月比】 3か月ぶりに 増加

※生産・雇用は前月比



(参考)各機関の景気基調判断(総括)

	前回公表分	最新公表分
奈良財務事務所 「奈良県内経済情勢報告」	県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している【4月公表分】	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直している【7月公表分】
内閣府 「地域経済動向」【近畿】	新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、持ち直しに足踏みがみられる。【3月公表分】	持ち直しの動きがみられる。【6月公表分】
近畿経済産業局 「管内経済動向」	一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる【7月公表分】	一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している【8月公表分】
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	関西の景気は、中国におけるロックダウンの影響等がみられる一方、消費への感染症の影響が和らんでいることから、全体として持ち直し基調にある。【6月公表分】	関西の景気は、中国におけるロックダウンの影響が残るものの、消費への感染症の影響が和らぐもとで、全体として持ち直している。【7月公表分】
内閣府 「月例経済報告」【全国】	景気は、緩やかに持ち直している。【7月公表分】	景気は、緩やかに持ち直している。【8月公表分】